

港区の適正配置対象校と直近の児童数等の推移

令和2年度 区役所調べ

中学校区	小学校名	児童数			学級数		
		H30	R1	R2	H30	R1	R2
市岡東中学校	波除小学校	641人	630人	635人	18(7)	18(7)	18(6)
	南市岡小学校	240人	269人	288人	9(2)	9(4)	10(4)
市岡中学校	弁天小学校	501人	487人	460人	17(4)	15(5)	16(5)
	磯路小学校	260人	279人	288人	10(3)	10(3)	10(3)
	市岡小学校	521人	494人	463人	17(3)	15(4)	14(5)
港南中学校	田中小学校	307人	293人	286人	12(3)	12(4)	12(4)
	三先小学校	377人	385人	372人	12(6)	13(6)	12(5)
港中学校	池島小学校	167人	141人	125人	6(5)	6(5)	6(6)
	八幡屋小学校	200人	194人	181人	6(4)	6(4)	6(4)
築港中学校	港晴小学校	196人	196人	175人	7(1)	6(2)	6(2)
	築港小学校	167人	152人	141人	6(2)	6(3)	6(4)
区合計		3,577人	3,520人	3,414人	120(40)	116(47)	116(48)

児童数は特別支援学級在籍児童を含む。学級数の()は特別支援学級で外数。

令和2年4月より、大阪市学校活性化条例に基づき、小学校の学級数の適正規模(12から24まで)にするよう努めなければならないこと、また、こうした適正規模を下回る小学校については学校再編整備計画を策定しなければならないことが定められた。

太字の4校が適正配置の対象校。(「大阪市立小学校学校配置の適正化の推進のための指針」において、毎年5月1日現在の学校現況調査(例年8月頃発表)で11学級以下で今後も11学級以下の状況にあると見込まれる小学校を適正配置の対象としている。ただし、南市岡、磯路の両小学校については、現在11学級以下ながら今後、12学級以上になる見通しであるため対象から外れている。)

学校配置の適正化の方策は、基本的に「統合」により進め、その際には適正配置対象校同士の統合を優先する。また、適正配置の相手校は、同一中学校区にあり、校区が隣接している学校とする。

ただし、港区は交通の利便性が高く隣接区で子育て世帯の人口が増えていること、対象校の校区でも市営住宅の建替整備が計画されている外、長期的には大阪・関西万博などの経済効果による人口回復も期待されるなどから、現時点においては長期的な児童数の推移を慎重に見極めるとともに、上記計画の策定に向けたさまざまな検討を進める必要がある。

